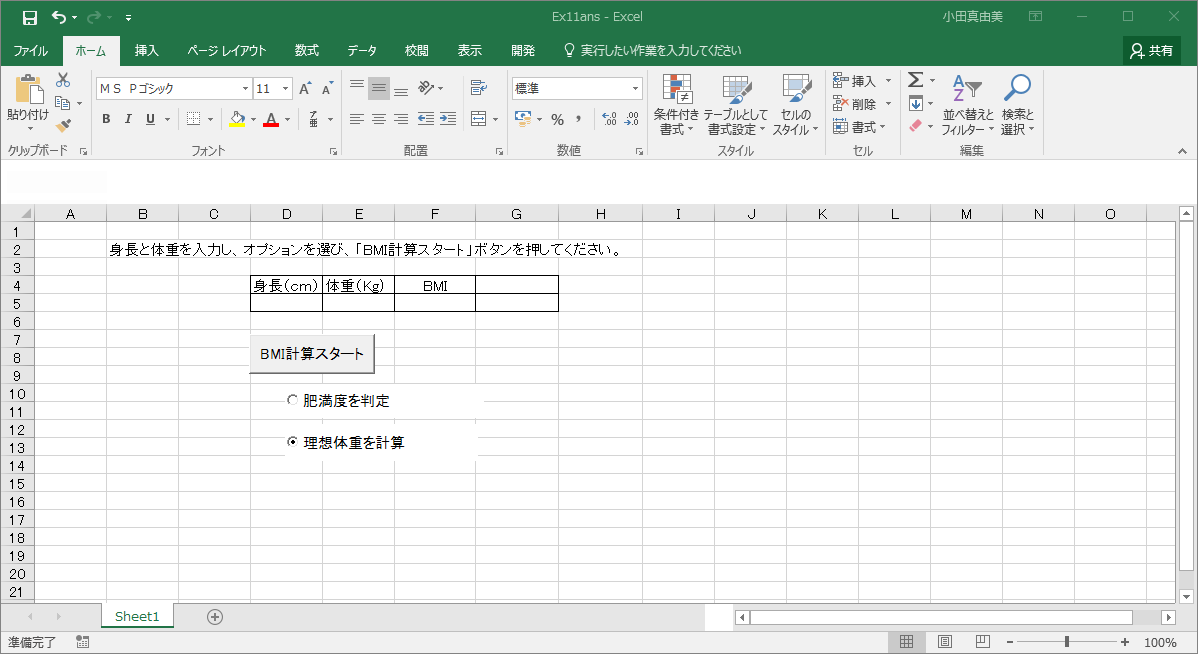
**演習１１（Step11　イベント・プロシージャ）**

　Ex11.xlsxを開き、身長（cm）と体重（kg）からBMIを計算し、肥満度、または、理想体重を計算するイベント・プロシージャを作成しましょう。マクロは下記のように、コマンドボタンと２つのオプションボタンを貼り付け、以下のように処理します。

1. 身長（D5）と体重（E5）から、BMI（F5）を求めます。

BMI＝体重／（身長／100）^2

1. このとき、オプションボタンで「肥満度を判定」が選択されていたら、セルG4に「肥満度」と、G5に肥満度の判定結果を表示します。
2. また、オプションボタンで「理想体重を計算」が選択されていたら、セルG4に「理想体重」と、G5に理想体重を表示します。



**演習１１（Step11　イベント・プロシージャ）ヒント**

**（１）課題の設定**

　課題のEx11.xlsxにマクロは含まれていませんから、課題ファイルのシートにコントロールを貼り付け、必要なプローシージャを登録しなければなりません。

**（２）コントロールの貼り付け**

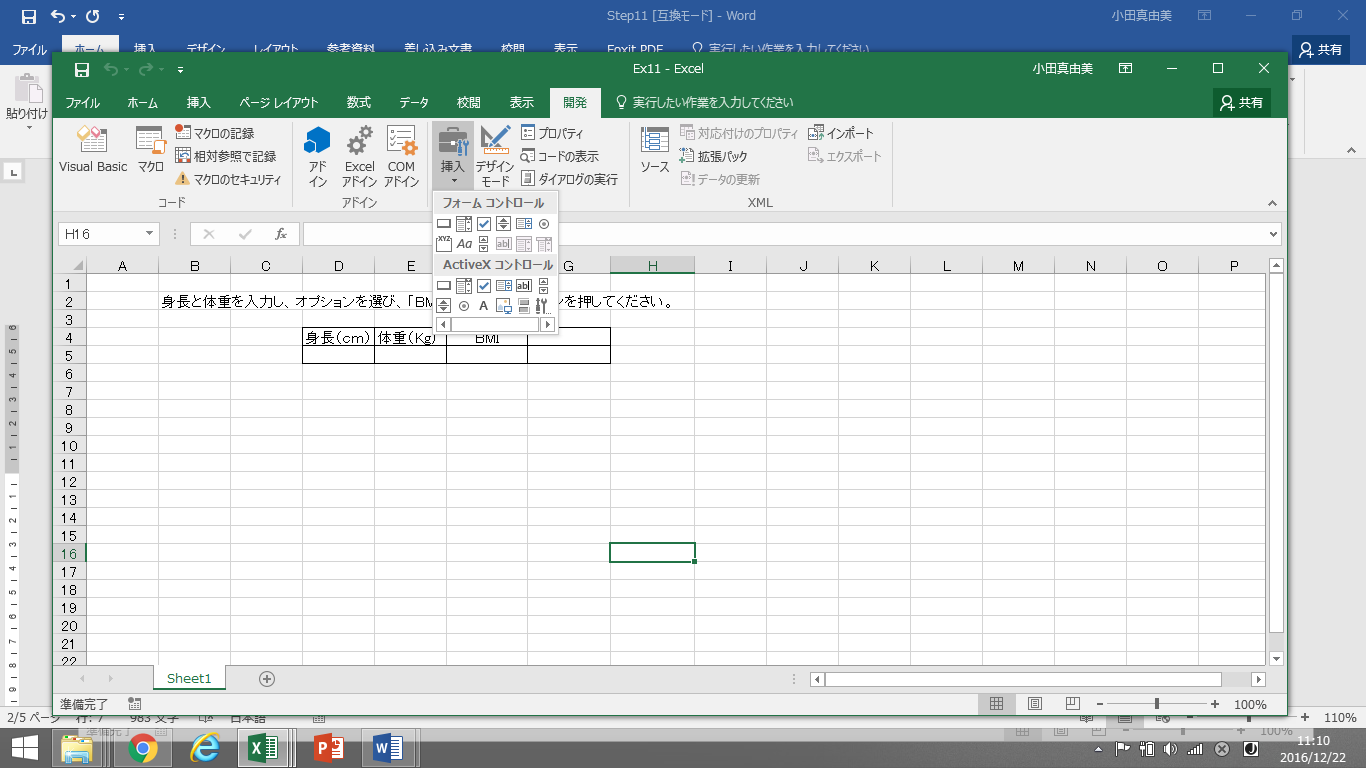
まず、シート上の適当な位置に、以下の３つのコントロールを貼り付けます。

|  |  |
| --- | --- |
| コントロール | Caption |
| CommandButton1 | BMI計算スタート |
| OptionButton1 | 肥満度を判定 |
| OptionButton2 | 理想体重を計算 |

たとえば、コマンドボタンであれば以下の手順によって貼り付けます。

①「開発」タブの「コード」にある「visual basic」をクリックし、VBEに切り替えます。

②「開発」タブの「コントロール」にある「挿入」→ AxtiveXコントロールのコマンドボタンを選択し、ワークシートをドラックしてコマンドボタンを作成します。

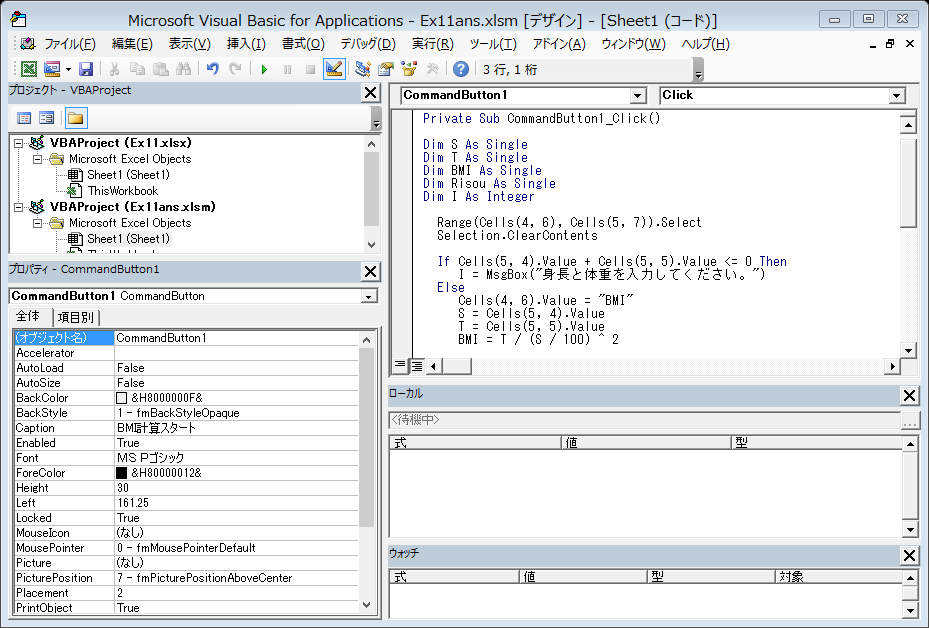


③

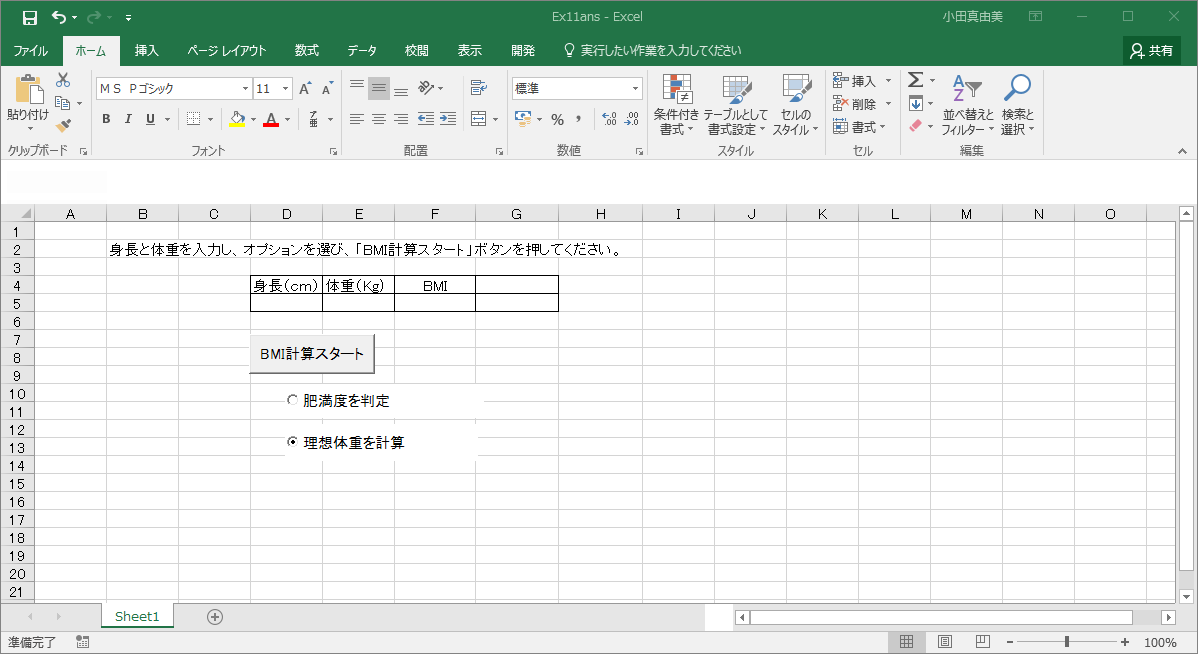
②

①

④コマンドボタンのプロパティで、「Caption」を「BMI計算スタート」に変更しましょう。



オプションボタンも同様に貼り付けて以下のシートにします。



**（３）イベントプロシージャの登録**

つづいて、BMI計算スタート（CommandButton1）ボタンをダブルクリックして、コードウィンドウにCommandButton1\_Click()プロシージャを作り、ここに、必要なコードを記述します。

**A.　BMIの計算**

まずは以下によってBMIを計算し、

BMI＝（体重）÷（身長／100）^2

結果を

　　　　　Cells(5,6).Value

に表示します。

**B.　肥満度の判定**

　もし、肥満度の判定が選択されていたら、すなわち、OptionButton1.Valueがtrueであれば、以下を処理します。

　　　　セルG4に "肥満度"を表示し、セルG5に以下の判定結果を表示する

|  |  |
| --- | --- |
| BMI | 判定結果 |
| 18.5未満 | 低体重 |
| 18.5以上25未満 | 標準体重 |
| 25以上 | 肥満 |

**C.　理想体重の計算**

　もし、理想体重の計算が選択されていたら、すなわち、OptionButton2.Valueがtrueであれば、以下を処理します。

　　　　セルG4に "理想体重"を表示し、セルG5に以下の計算結果を表示する

　理想体重＝ (身長 ÷100) ^ 2 ＊ 22

　なお、OptionButton1とOptionButton2は同じグループに属しているので、同時に両方が選択されることはありません。